寫眞週報

內閣情報部編輯
六月廿二日・第十九號・十セン

南の據點・臺灣
全國安全週間

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

銃後に築く

漁村篇

所・千葉縣安房郡千倉町忽戸
時・六月上旬
（視察日記から）

……晴には、濃大根の花が、さやさやと初夏の風にゆれてゐた。

肥筆にパンツだけをつけた、てんぐさ採りの女達は、うす紫の花むらを、ひよい、ひよい、と飛び越えてゆく。

そんな處にだけ、女らしさが感じられるやうな逞しい忽戸の女達。

この部落代々の女達は、女と勞働の問題を、生活がさせる一つの習俗として、あつさり解決してきた。

そして、新しい女の生命が生れることに、その肉體には、男と同等に働く力が育まれ、男のやうな骨格が形づくられてきたのであつた。

今年は、男の大部分を外洋漁業に送り、尚壯人かを戰地へ送つて、女か讓る村に、非常時の色は濃い。然し、部落は身じろぎもしない。何故ならば女達は、昔から、男の衛守を護るべく十分鍛へられてあつたから。……

（忽戸區長堀江政吉氏の話）

……この女達を御覽下さい。よそでは、銃後を護れ、といふので急に女達を駈きだしたやうですが、此の部落では、年産二百萬圓の一てんぐさ」の收入も、女の働きで、部落牢年分の食糧を作る水田十一町歩畑十一町歩も、殆んど女が耕作して居ります。今年は、てんぐさの値が下落しましてれその分を補はふといふので、生産力の確保増進を合言葉に、漁獵の時は畑、干潮の時は海、と朝四時から夜の七時まで、あの通り働いて居ります。昔から、幸か不幸か女も男と一緒に働く習慣が、非常時の今日大變役立つて居ります。男といふ男を全部御國に捧げても、儂の部落の限りでは、女だけで立派にやつてゆけまさあ。……ああ、向ふから來た女は、出征兵の一人田中總松上等兵の妻女です。……貧しいながら、立派に留守を護りませうと、いくら、軍事扶助をうけろ、とすゝめても、聞かさせなんだ……なんとふ雄雄しい家族の妻を見ると……老の淚もさることは、つひ泣かされますわい。……（次頁へ續く）

⇧ 海こそ愚愛の母——太平洋の大きなふところに抱かれて、たくましく育つた忽戸の乙女。

腸疾患に

ビオフェルミン

腸カタル　小兒下痢
醗酵性下痢　乳兒緑便
腐敗性下痢　食慾不振
食傷・蛔腸　榮養障害
消化不良に　常習便秘に

整腸
ビオフェルミン中の乳酸菌は腸内腐敗及び異常醗酵を除き腸機能を正常に復して下痢症狀を安全に消退せしむ。

殺菌
この乳酸菌は、同時に腸内の有害細菌を死滅せしめ、毒素の吸收を防ぎ、腸内容を清淨ならしむ。

消化
ビオフェルミン中の糖化菌は澱粉及び蛋白質を消化し榮養分の吸收を佳良ならしめ便通を調整せしむ。

傳染性腸疾患
豫防と保健に

ビオフェルミンの常用は疫痢腸炎、赤痢、腸チフス、コレラ等の恐るべき傳染性腸疾患に對し、豫防と強腸の效果を收む。

甘美味、服用容易なる粉末と錠劑、各藥劑店にあり

發賣元　株式會社　武田長兵衛商店　大阪市東區道修町
製造元　株式會社　神戸衛生實驗所　神戸市林田區二番町

武田發賣品

日常の村經濟をまもる女達にとつて、てんぐさは重要資源の一つである。干潮時になると、老いも若きも、荒波が脈を噛む海中に潜つて働く。——磯から歸る村の女達。向つて右が田中みや子さん。（解説參照）

漁業協同組合の指導で、採取から出荷まで、すべて女の手で行はれる。共に歌ひ、足の力を合はせて、てんぐさを踏めば、潮で磨かれた顏も、晝酉の夕映えが染めてゆく。

（田中みや子さんの話）

ハイ、夫が出征してから、十五になる養女と二人暮しです。田三畝、畑三畝を小作してゐますが、とても一年分の食扶持にはなりません。あとは、てんぐさ採り、あわび採の教人で、子供を學校にやり、食べてきました。他の女達のやうに私も、長い水潜り仕事で耳の鼓膜を破り、今日この頃は、てんぐさ採りも思ふやうではありません。女は女同志、とり前を分けてくれたり、部落でお金を下さつたり、皆親切にして下さるので、それを何よりの力にして夫が芽出たく歸還するまで、女の細腕ながら、……立派に留守を護り通さうと思ひます。……

所・千葉縣夷隅郡勝浦町串濱
時・六月上旬

（觀察日記から）

……串濱の千葉縣漁村道場には、縣下の各地から選ばれて集つた、滿十八歳から二十五歳までの青年五十名が、漁村厚生の前衛たるべく激しい訓練に全力をうちこんでゐる。

長期間に亘つて、事變からくる樣々な困難を處理し農山漁村の生活をしつかり支へてゆくには、青年の持久力に依らねばならない。

又、事變後、急激に變化してゆくであらう新日本の針路に沿つて、如何に農山漁村のゆくべき道を確立するか、といふ一大課題にこたへるのも青年でなければならない。

此處にも又、新しい使命に生きようとする青年の姿がある。

（修練生の話）

私は、高等小學校を卒業したばかりで、何の學問もありません。然し、小さい時から、村の人と一緒に働き、一緒にくらしてきましたので、協力一致とか、共存共榮といふことが、どんなに大切なことか、よく解つてゐるつもりです。本縣の漁民は、自分達の環境に立てこもつてゐるので、天然の制約になれすぎました。非常時の今日、われわれは、ここで鍛へた經驗をもつて、今までの古い考へ方を打破、新日本水產業建設の眞只中へ、飛込んで、漁船機關に關する知識・漁船運用航海に關する知識・漁具・漁場・漁獲物の處理加工・主要水族の生態・主要水產動植物の增殖方法・水產經濟・海洋知識・實業教育——水產法制・水產經濟・海洋知識・精神教育——皇國精神・漁業道徳（毎週五時間）

（千葉縣漁村道場要覽の一部）

教育課目。

午前五時。曉のしじまを破つて起床の太鼓は、漁村道場一日の幕をきつて落される。

今日は、沖に出て實習だ。

なぎの海に向つて、胸一ぱいに朝風を吸ひこめば、沖に、希望の陽は上る。

共同の仕事に無駄は無い。

魚梁神社の境内に建てられた農事實行組合作業所には、精米機や水揚機が備へつけられた。

最新に數へられながら、ぐんぐん仕事の能率を上げてゆく女達は、滿潮の間に忽ち巻をとき終る。

てんぐさの荷造りを終れば、夕餉の仕度をしなければならない。坊やも乳を待つてゐるだらう。

この、男に勝る強い生活力——「大和をやめ」の時代は過ぎた。忽戸の女のごとく、銃後の女性は範へよ。

日本青年の氣魂を切先にこめて、氣合も鋭く、真過な漁民魂を磨く。劍道、軍事教練も毎週十二時間の必須課目だ。

午後七時から八時三十分までは、自習又は座談の時間。身體は繩のごとく疲れてゐるが、晩の、全日本の水產業を一身に擔ふ青年達は、漁業問題はもとより、政治、經濟の諸問題をとらへて意見をたゝかはし、或ひは、青年の進むべき道に就いて、しみじみと語り合ふ。

勇壯なまぐろ獲りの實習に、若き漁夫の胸はおどり血潮はわきたつ。

南進、北進、伸びる日本の先頭にたつて、大洋に魚群を追ふその日思へば、飛ばす銛にも力が入る。

どんと、どんと、どんと波乘りこえて、出漁實習のさば釣り。

修練生は、この他、漁船機關の操縦から、組合の經營にいたるまで、六ケ月間みつちり實習で鍛へられてゆく。

もう、消極的な漁撈に甘んじてゐる時代ではない。これからの漁民にとつて必要なのは積極的な漁民精神である。むさぼるやうに講義へ耳を傾ける、水產日本未來の指導者達。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

南の寶庫・台湾

拓務省
臺灣總督府

南側から見た次高山――正確にいへばシカヤク大山、三千米をこえる臺灣山脈第二の高山。

今上陛下なほ皇太子殿下におはせし頃臺灣に行啓あらせられた御時御休憩所に充て奉つた小亭の竹柱が不思議にも行啓數日前から青々と新芽を發し、今日の繁茂を呈するに至つた瑞祥の竹林。

十六世紀、紅毛エスパニヤの航海者たちがはるばる東洋に渡來、イラ・フォルモサ！（美しき島）と呼んだ常夏の島、臺灣。そこには、對岸支那の福建、廣東省から曾つて移住して來た五百萬の所謂本島人、三十萬の内地人、十五萬の高砂族、朝鮮人等合せて五百五十萬の帝國臣民が確乎として南方の護りを全うしつゝ六月十七日施政四十三周年を迎へた。

支那事變勃發以來既に一年に垂んとする今日、歐米列強の誤解、妨礙を排除する支那大陸とあの隣たること わづか百五十浬、南進日本の據點として、長期戰下のわが臺灣は愈〻その重要性に、政治に、國防に立ち最時體制下、國民精神總動員運動の力強い展開を示しつゝある。

然しこゝに至るまでには、日清役による領臺以來四十三年、明治天皇の御宇の日本精神を基調とした統治の根本方針・同化方策により資源開發、産業の振興から始めて、皇民生活の安定充實をはかつたわれらの先覺諸先輩の血と涙の努力を忘れてはならない。同時に、臺灣島民の教育、殊に初等教育の普及、國語の常用、更に國民的信念の確立と島民を皇民化すべき最大の要件として重視され、從つて學校教育のみならず民衆の教化に對しても絶大の努力が今なほ嚴命に續けられてゐることをも忘れてはならない。

×

支那事變は、臺灣領有以來一貫して、國の内外一如を實現せしめ、全島人口の一割をめざしてゐる。これは今までの出稼ぎサラリーマンとは全く異り、全家族擧げて、孫子まで引きつれ、農業移民パイオニヤとして臺灣の土に永住するものであり、臺中州中心に甘藷栽培に從事する人々と、高雄州中心に煙草栽培に從事する人々にわけられる。

殊に、甘藷による製糖業は國内消費の自給自足を遙に越え、海外にまでその觸手を伸はしてゐる程隆しさであるが、甘藷からはこの他、時代の脚光を浴びて生産力擴充の國策線上に躍り出した無水アルコールとバカス（パルプの原料）が抽出され、貴重な資源となつてゐる。

煙草産業の方も自給自足制を確立すべく今や孜々として邁進がつゞけられ、所謂タバコ移民は非常に優秀な成績を示してゐる。

以上の内地人移民の二つの國策産業のほか、然と光、天與の資源を擁する臺灣の農業は今や從來の農業立國から工業化にと時代の大きなカーブを描きつゝある。目ぼしい例をあげれば電力開發と工業擴張造である。これは昭和十二年度から二ヶ年計畫で今までありまり顧みられなかつた山地に向つてとし〳〵發展してゐるのである。又金、石炭、石油、アルミニウム等の新らしい採掘作業、及び飛行機の減壓罐、カストル油（ひまし油）の製造等が東部を中心に諸地方におこりつゝある。

最後に農業義勇團を紹介しよう。臺灣では、大陸の戰線の勇士に食糧の不足があつてはならないと、昨年十月から廣大な生野菜（里芋、甘藷、蓮根、南瓜、生姜、筍、冬瓜等）を野菜の皇軍に供給、農業報國の實を擧げてゐるが、これと別に支那現地で直接野菜栽培をしようと過般來渡臺好で一千名の農業義勇團員を募集したが、申込は忽ち豫定人員を突破、今や第一期一千名の義勇團は支那大陸で農業勤勞奉仕にいそしんでゐる。

×

われ〳〵はこの寶かなその地と人とをあげて帝國の歷史的重大使命に國に協力し、曾て蔑ふことのなかつた大いなる役割をその特殊性に鑑して實現せんとしてゐる劃期的事實をよく認識しなければならない。（週報第七十三號參照）

皇民化は國語の普及から

道教育を受けなかつた本島人たちは毎日勤勞生活の一二時間をさいて部落の有志を先生に日本語を習つてゐる。日本語習得機關には夜學もあり老人も一生懸命通學してゐる。

臺中州の日月潭――海拔二千四百尺の湖の東岸に白きがら呪ふ「化蕃の杵唄」は哀調を帶びた聲で林間にこだまし湖面を流れてゆく……

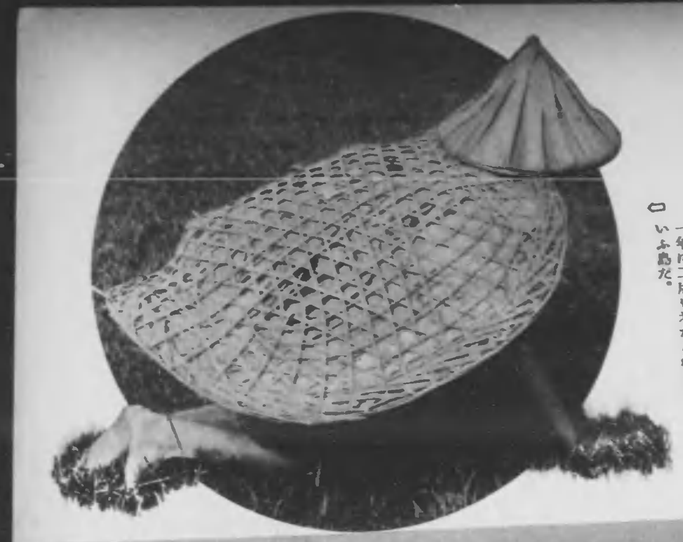
鐵路を距る二十里、かつては臭男の名が天下に高かつた新竹州太魯閣タイヤル族ガオガン蕃社にも皇風は漸く事變發生以來彼等の國民意識は益〻擧國を加へ、このほど代表男子五十餘名が皇軍の武運長久祈願にはるばる臺北まで下山した。寫眞は武裝した高砂族蕃人

從來本島人の信仰は佛教、儒教、道教等の外に祖先、城隍爺などと言はれる寧ろ迷信に近い雜多な民間信仰があつた。日本精神を體得するにはまづかういふ迷信を打破しなければならない。今では島民の自覺により一市街庄に一神社を建立する氣運が醸成されてきてゐる。

孫娘と共に參詣してゐるこの本島人老婆の顏には遠い缺時代の清朝歷政から皇國の德政までの長い〳〵想ひ出が走馬燈のやうにめまぐるしくゆきゝしてゐるにちがひない……

街に見られる本島人鉄幾女性の千人針姿。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



常夏の台灣ならでは見られぬ田の草取「龜の子」姿
一年に二度も米がとれるといふ島だ。

台灣アルバイトディーンスト、動勞奉仕の涙ぐましい一面はこゝにもある。躍進する產業開發に伴ひ良い道路はどうしても必要だ。

內地人タバコ移民村からも多くの壯丁が應召出征した。遺された家族を助け勵ます本島人青年團の勞力奉仕の美しい姿。後部家屋の特有な形をした屋根はタバコの葉を乾燥させる仕組である。

「台灣の砂糖か、砂糖の台灣か」台灣の製糖業は日本の自給自足をぐんとたび越してゐる重要產業だ。甘蔗植付けの耕作も大規模で、今では牛馬などの動力によらず、近代科學を應用したスチームプラウ（蒸氣動力鋤）を使用してゐる。

聖戰の意義を深く認識した島民、殊に新日本の治下に生を享けた若き島民は皇國に報ゆるはこの時と帝國軍人に採用されないのでせめて軍夫をと、血淚の文字をつらねて續々應募に殺到、嚴選された〇〇名の軍夫はいま皇軍將士の手となり足となつて大陸戰野に活躍してゐる。

生產力擴充の國策プログラムに隨伴發展する特殊產業、天日鹽製造作業。寫眞は結晶鹽採集とその鹽の山

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

台湾圖繪

上海←基隆 700K.M.
廈門←基隆 300K.M.
J.P.C.K
J.P.A.
台北州
新竹州
台中州
花蓮港廳
台南州
高雄州
台東廳
澎湖廳
廣東←高雄 300K.M.
北回鐵道線
縱貫鐵道線
日月潭
阿里山
玉山
大武山
紅頭嶼
北
西
東
南

全國安全週間

厚生省
商工省

七月一日——七日

第一線戰士の活動に後顧の憂ひなからしめるためには、銃後産業に從事するものが、國家の持つ物的資源と人的資源とを愛護活用するために萬全の努力を拂はねばならない。

本年度の安全週間が、「國民精神總動員の趣旨に則り「安全報國、銃後の護り」を旗印として施行されるのは、從業員の災害を防止し、その保健衞生に積極の努力をはらひ、勞働力の維持增進をはかり、生產力持久の基礎を固めることが、實に日本に課せられた、最も重要な使命だからである。

七月一日から一週間、第十一回「安全週間」を、厚生省、商工省の主唱で行ふこととなつたが、今年は例年に比し、特別の決意を以て、安全週間の施行に當らねばならぬ。

作業場で種々の不注意をかもし出す第一の原因は、一般社會人とは異つた特殊の環境で仕事してゐるために、一寸した緊張上の缺陷で、怪我をしたり、特殊の病氣になつたりするのである。

これ等の原因は、一面から見ると、管理者の責任であるが、他の一面から考へると、社會一般人の科學的知識の向上を計らなければ、眞の目的を達し得ない。

安全週間は、決して作業場内の問題だけでなく、一般家庭に於ても留意しなければならない。この機會に、一般の人々にも、安全週間の意義に鑑して、關心を求めたいと思ふ。

災害の第二の原因は、從業員の不注意である。一般社會では、省みられないやうな、ちよつとした過失からでも、作業場では、大怪我をすることがあり、又ある人が一寸注意してくれなかつたために、獨りで作業してゐる人に大怪我をさせることもあるっお互ひに他人の安全のために注意しませう、自分も他人から注意して貰ひたいから一といふ精神が、職業安全教育の指導精神でなければならぬ。そして、この安全確立精神は、家庭にも、學校にも、あらゆる社會生活に及ぼされねばならない。

これらの目的を達するために、七日間を、安全週間日、設備整備日、清掃整頓日、規律厲行日、保健衞生日、報國宣誓日に分け、日本全國の工場、鑛山、作業場に於て、種々の行事が企てられる。非常時の今日全國民も、この行事の意義について十分理解され、徹底されることを望んでやまない。

七月七日の報國宣誓日は、今次事變の發端盧溝橋事件の記念日にあたる。この日を期して、全國の勞働者諸君が、勞働報國の誓ひをなすのは、まことに意義のあることである。

征くも守るも心は一つ。

產業戰線の勇兵たる時と、安全週間に高揚した決意をもつて、長期戰をたゝかひ拔かう！

一人の怪我は、全職場で、その機械の操作をきらふやうになる。いきほひ、生產能率は低下してゆく。

安全裝置費は、立派な生產費だ。

銃後の人的資源をまもり、働きよい職場をつくるのは、管理者の義務である。

檢査點檢日——

怪我は、些細な設備の缺陷から起きる。みんな、身體を大切にしなければならない今日、たへず機械の檢査點檢に力をいれやう。

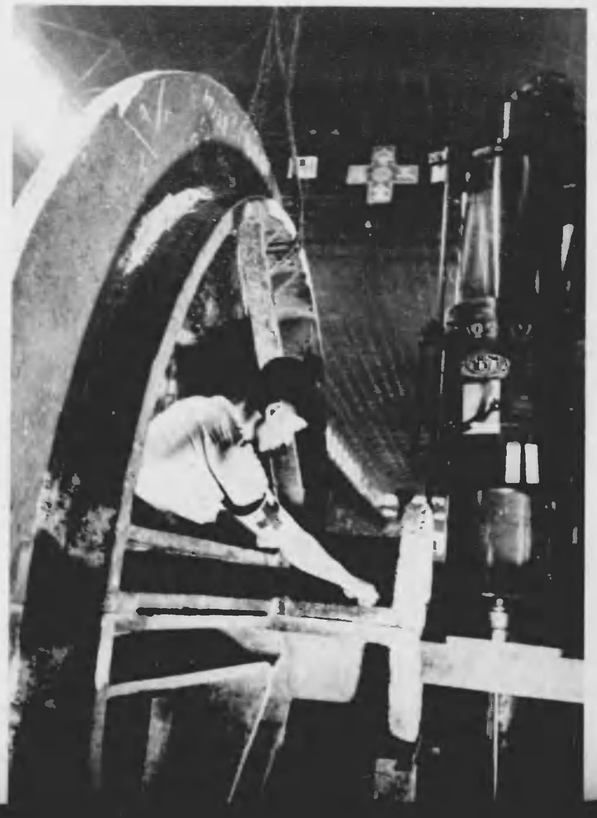
又、管理者は、權力、設備改善につとめなければならない。

清掃整頓日

規律ある生活に、先づ清掃整頓が必要である。又、今の日本にとつて、ボロきれ、釘一本も大切な資源である。清掃と同時に、どんな小さな塵屑でも、一定の容器に入れる習慣をつくらう。

戰地の負傷は名譽だが、職場の負傷は產業戰士の恥だ。あやまつて怪我した時は、直ちに醫務室で十分の手當をうけやう。

又、工場、作業場には、醫藥設備を完備、働く人を傳染病から護らう。



保健衞生日

非常時の勞働力の消耗をふせぎ、體位低下をふせぐ爲に、體育の訓練を心がけよう。

早寢、早起もいゝ家族みんなでピクニックに出るのもいゝすべて日常の保健が大切だ。

それと共に、醫藥保健設備を完備しよう。たつた一つの天井より垂れる「吸上げ式塵除け」が、數千人の保健に、どんなに役立つてゐることか。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

⇨規律訓練日——
無敵皇軍をつらぬく厳しい軍律、鉄の組織——軍隊生活に最も必要なのは規律の厳守だ
防火、避難、防空等の演習を行つて、銃後の護りに備へると共に、無敵産業軍をつくるべく、統制された行動を訓練しやう。

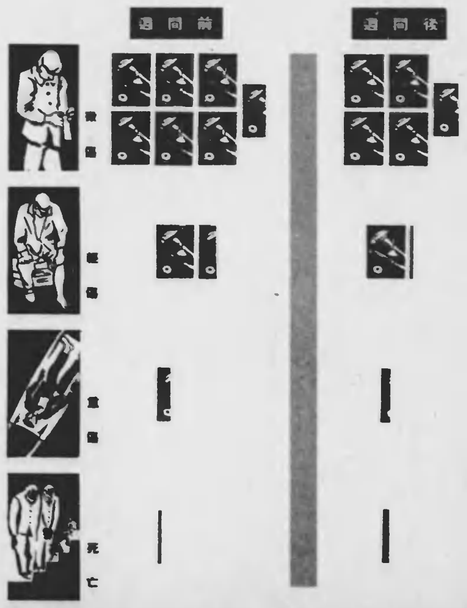
⇦
安全教育は、大切な基本教育だ。
ちつと、職工長の説明に耳を傾ける少年工。器具の扱ひ方と共に、安全教育がほどこされ、危険作業をさけるすぐれた労働者魂が培はれる。

⇦
少年少女の見送りに、安全報國を誓つて、入坑する炭坑夫達。
安全週間日には、不幸作業の犠牲となつた先輩の冥福を祈ると共に、わが身の安全を断願しやう。
人的資源總動員に參加、生産力擴充の輝く戰士となるために。

⇦
精神修養日。茶の湯に日本精神をみがく、東京モスリン紡績工場の女工さん達。
身體と共に心を鍛へ、前線將士の覺悟を以て、征日の作業に全身をうちこまう。

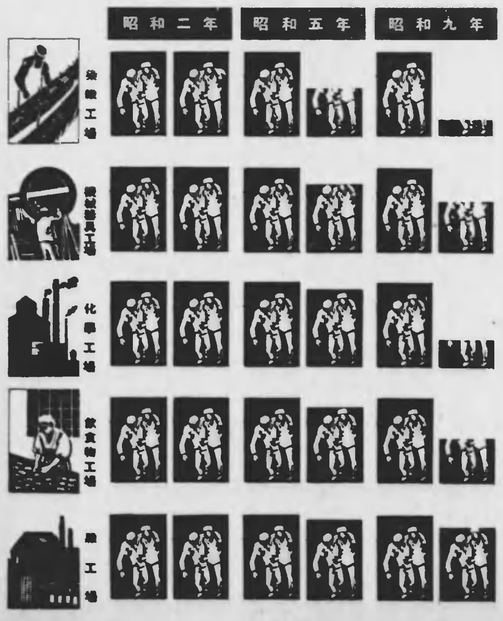
第八回 安全週間 昭和十年 全国安全週間成績概要

（協調会調査）　（単位 一万人一人）



安全週間開始以来 全国産業別災害率推移比較

（協調会調査）　（単位%）パーセント



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

戦ふ力はこゝにも

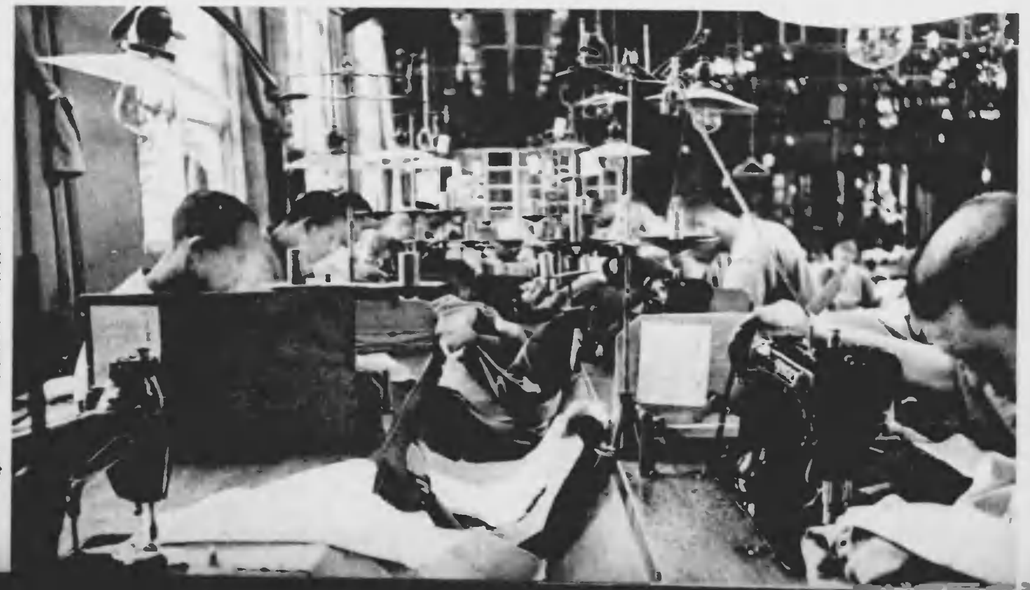
小菅刑務所

―司法省―

徐州落ち、封鎖も、更に敵の本國奥へ、敵線の勇士は勿論、銃後の國民も撃つて大陸の勇士に力を合はせ心を一つにして、大和民族の偉ふ大使命達成に邁進してゐるぞ、不幸にして罪を犯し、社會と離れて監獄にある人々――犯した罪の輕重に、出征の兄、斃れた友に、戰線の將兵も遠からず、たゞひたすらに、悔悟と、勞働の日々を勤々と送りつゝあり、果してどんな銃後の務めが與へられてゐるやうか。そして又、どんな氣持でその務めを果しつゝあるだらうか。

六月の太陽が燦々と照りそゝぎ、鐵に汗を滲ませるある日、東京市麹町區、霞川櫻木町にくつきりとモダン建築の姿を讃へ立つ小菅刑務所を訪ねてみた。

ここには七年以上の重罪に問はれた不幸な受刑者が、或は懲役、或は禁錮、運用電柱の製造に、或は軍服、軍靴、背嚢の縫製等に一心不亂身を砕いてゐる。支那事變が擴大し、皇軍が破竹の勢で抗日支那を席捲しつゝあるの報がもたらされたとき、受刑者たちの血は躍き立つた。「われらも戰地に一銃劍を揮ふ國民としての職域に何の變りがあらうか。だが不幸な現實はかれらをして戰ひの第一線に立つことを許してくれない。唯彼らに愛國の血潮が內に燃えたぎるばかりである。しかし、最愚はこゝにも恰く、戰ひ得ない者にも與へられた銃後の務めは與へられた。軍需品の製造である。受刑者たちは勇躍した。せめて、せめて罪の償ひにと、今、彼等は明日の太陽を待ちつゝ、たゞ一すぢお國命の捧



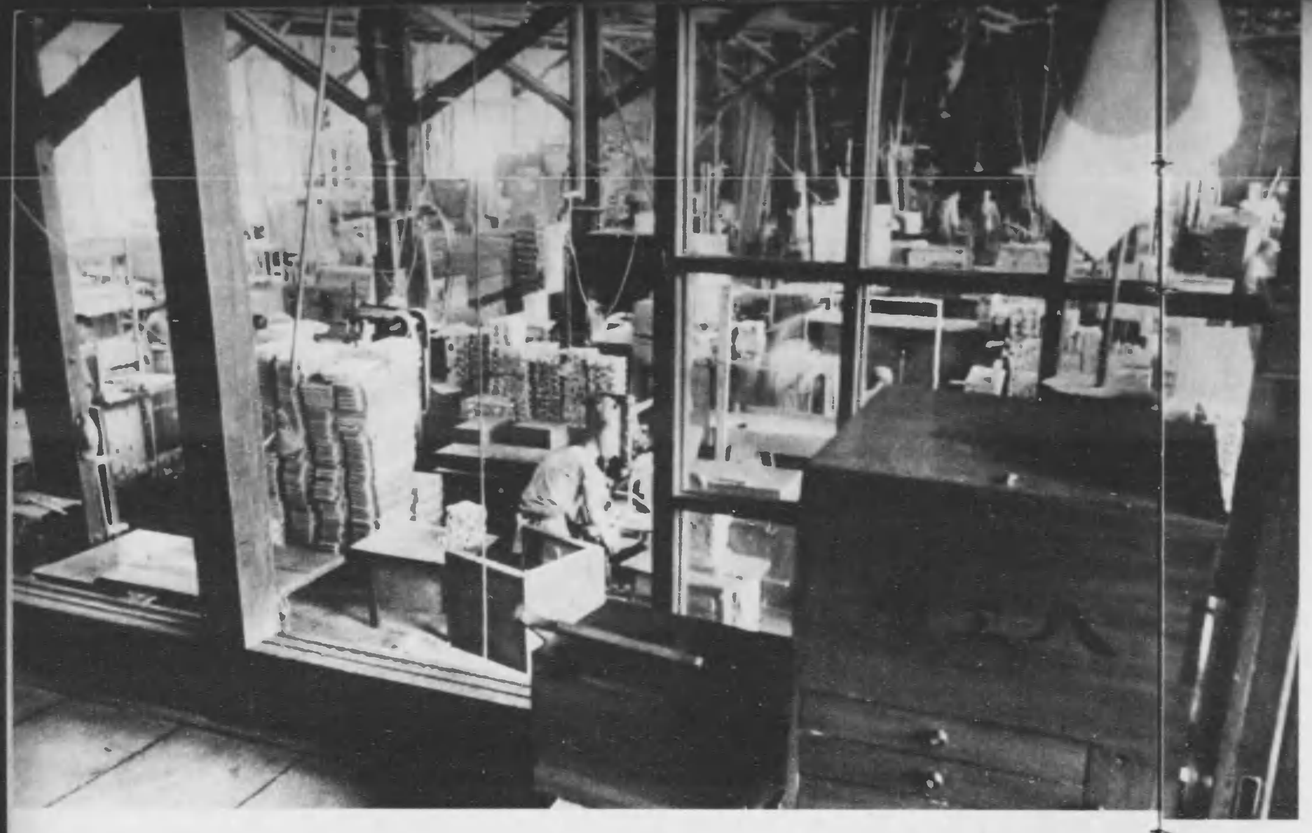
⇨ 勇士の軍服はわれらの手で――ミシン掛けにも、かゞりにも、戰ひこむは男子の赤心。軍服よ、俺の代りに戰つてくれ。偉大な責任感を見てゐると、さうした無言の聲が聞えて來る。

⇨ 起床から就寢まで號令は凡てラッパ、そのラッパの音と共に製材、木工、印刷、洋裁等の各種作業場に勇躍出かけるのはこの廊下を通つて。彼等の和協一心の勞務の結晶は戰線に送る彈藥箱となつて山とつまれた。

⇨ 工場の一つでは兵器の部分品も製造されてゐる。

⇨ 山と積まれた架橋材料、その一つ一つに手斧を振ふ渾身の力。世界戰史に輝やく皇軍の敵前架橋の成功に、君のその力もあづかつてゐるぞ。

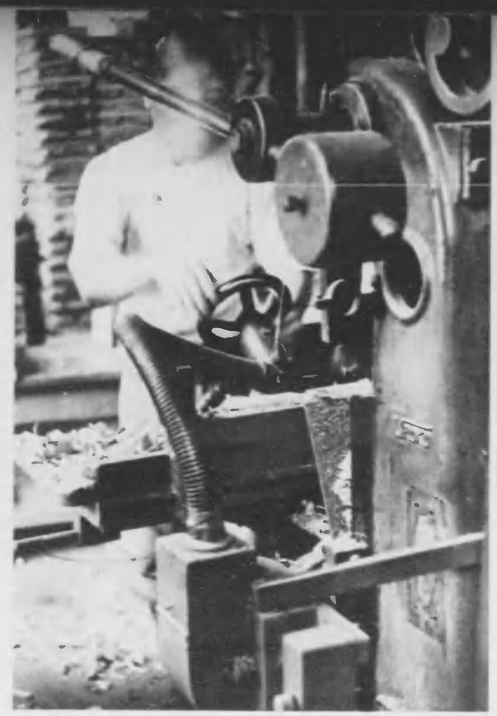
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



⇧

彈薬箱製造用の材料板――

「丸鋸」係りが板を挽けば、運搬係りが次から次へ積みあげる「いいか」「よし來た」聲こそ出さね、とけ合ふ心と腕が仕事を運ぶ。



⇩

午後二時、休憩の時間となれば、ラッパ手を先頭に、全員隊伍堂々遙拜所前の廣場に進、列をとけば、六月の燦々たる太陽を浴びて戸外運動が始まる。綱々として球を投げふ姿を見よ。これが七年以上の受刑者と見えやうか。否、否、身はたとへ受刑者でも、心は鉄後を護る赤心たゞ一すぢ、浴びる太陽にも輝やく明日を持つ。

⇧

穴あけ機械作業――切子をあて～ハンドルを廻せばバラ～ッと飛び散る木屑。

ひるの食事の時間に開いた開封占領の勇しいニュース。敵の彈雨を飛び散る木屑が髣髴させる。

⇧

鍛治工場、鋳材工場、木工場どの一つを見ても愛々たる大工場、黙々と働きつゞけるにいづれも立派な熟練工、聖戰の遂場はいま鉄後の日本を護る一大生産工場だ。監督者の部屋を飾る日の丸の小旗が緊張した工場の空氣を反映する

⇨

丸鋸作業、バンド機械作業、穴あけ作業を經て彈薬筒製造は最後の工程だ。トン～～と打ちこむ釘に皆罪の念はこもる、戰地の勇士を思ふ心は滾る。

⇦

出來上つた彈薬箱はトラックに山とつまれて次々と運び出されて行く。われわれの手でこしらへたものが戰地へ行く。あゝ、たとひわづかでも皇國のために盡し得た。感激にもえる眼がちつと車を見送る。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

同盟通信社の三大定期刊行誌

▼**國際經濟週報**……毎木曜日發行

世界經濟の一環は本誌によつて寸分の遺漏に並行して正確に報道されます。しかも國内經濟の動向、財政、政治の批判等に至つては獨特の領域を有つております。

（四六倍判八〇頁）

定價一部廿五錢・一ケ年（前金）十二圓五十錢

▼**同盟旬報**……月三回・十ノ日發行

海内海外の全「同盟ニュース」綜合編輯

この十日間の出來事は？　世界の動きは？　皆さんは新聞を御覽になつて「切拔」を作りたいと御考へになりませんか。その大變面倒な仕事を忠實に務めるのが「同盟旬報」です。

（四六倍判八〇頁）

定價一部廿五錢・一ケ年（前納）十　圓

▼**國際寫眞新聞**……月二回五・廿日發行

世界の動きを唯の一と目に見るグラフ

ニュースに、興味に、スポーツに、映畫演藝に、さては科學學術等々は、本誌が持つ世界レンズ網の威力によつて展開される。學校・集會所・ホテル・其他家庭の應接室に樂しき話題を提供します。（菊倍判五二頁）

定價一部五十錢・月（二部）八十錢

讀者のカメラ

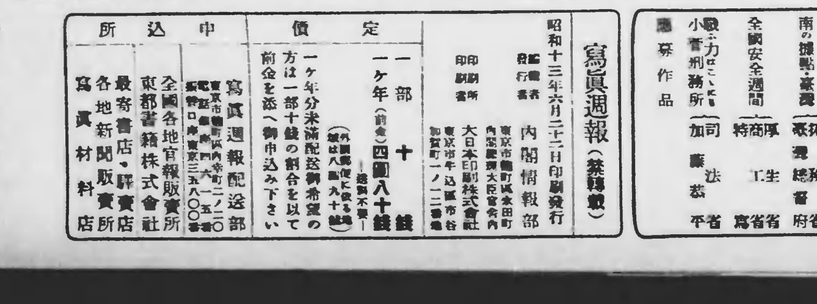
應募作品

ムシ總動員防デー
京都市上京區　名越　正明

わたしたちを鍵旗體に築きあげて呉れる爲に、大切にしませう。食事の後に、又寢る前には出來るだけ齒を磨いてムシ爲の出來ないやうにしませうね。ムシ爲撲滅デーのこの體操はムシ爲征服の第一歩です。

大日章旗を捧げて
京都市伏見區　山口晃司

願もしき少年團の手に、今し大スタヂアムに維持され行く大日章旗は觀衆に異常の感激を盛る。たれかれの口をついて自然にわき出でる日の丸行進曲は、いつしか數萬人の大合唱となつて場内を壓する。



就役は總等の手で
三重縣阿山郡　上野尋常高等小學校

榮ある出征兵の家族を救へと、本校の應召家族擧仕班は夫々の家庭の實情に應じ、家事手傳にいそしんで居る。"いま放課後の學童擧仕班は、主なき雞舍の前に相集ふて卵磨きに大童。可憐な手で次と眞白に輝き行く卵の山に見入る老父の瞳はいつしか感激にうるむ。

今週のキヤメラ

表紙（安全週間）特　寫
銃後に築く漁村鑛
漁村を訪ふ　加藤恭平
漁村道場　特　寫
南の據點・臺灣（拓務省）　總督府
全國安全週間（商工省）　厚生
戰力增强（司法省）　刑務所
小菅刑務所（加藤恭平）
應募作品

寫眞週報（禁轉載）

昭和十三年六月二十二日印刷發行
編輯兼發行者　内閣情報部
發行所　東京市麹町區永田町大内山
印刷者　大日本印刷株式會社
印刷所　東京市牛込區市谷加賀町一ノ一二番地

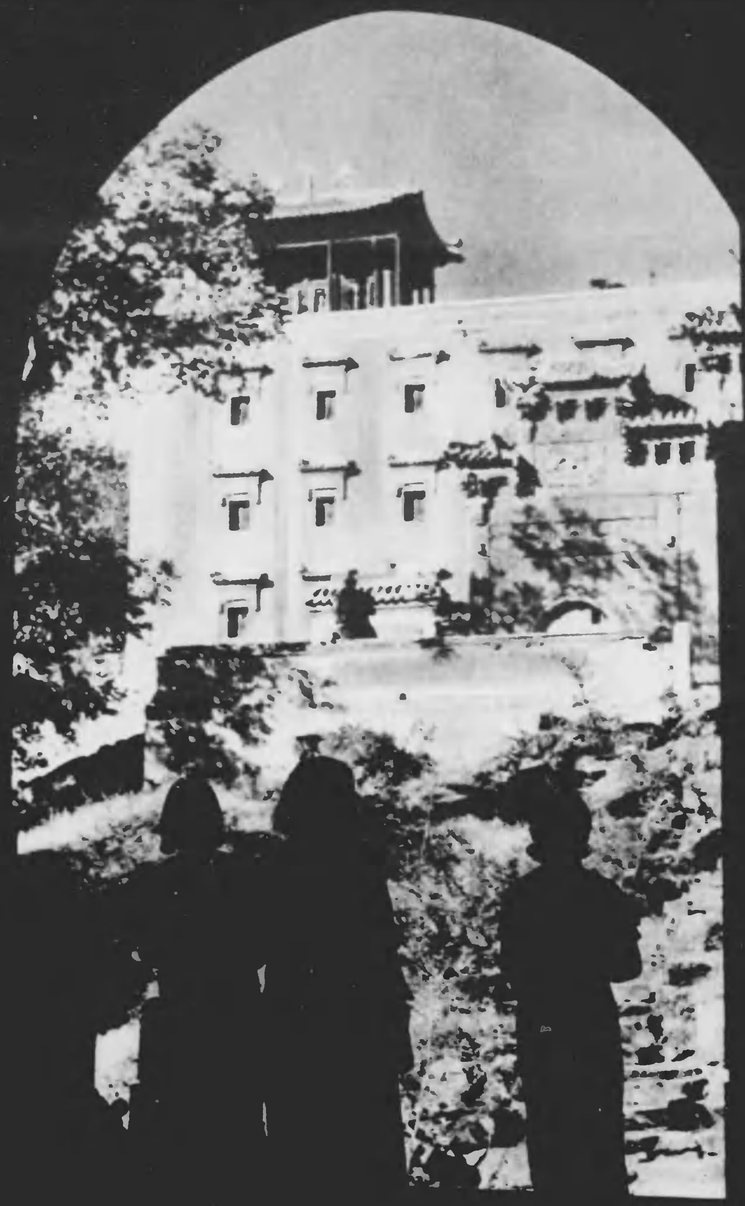
定價
一部　十　錢
一ケ年（前金）四圓八十錢
（外國郵便は實費に依る　送料不要　一部は八圓九十錢）
一ケ年分未滿配送御希望の方は一部十錢の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

申込所
寫眞週報配送部
東京市麹町區内山下町二ノ一〇
電話番町（33）五一五番
全國各地官報販賣所
東都書籍株式會社
最寄書店・評判店
各地新聞販賣所
寫眞材料店

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

滿鐵週報
昭和十三年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十三年六月廿一日　印刷　（隨時）　昭和十三年六月廿四日　發行　第十九卷　第廿五號

觀光滿洲



熱河承德拉藏殿

滿鐵鐵道總局

內地・朝鮮より
往復・回遊汽車賃
單　獨　二割
團　體（三人以上）五割
學生團體（五人以上）五割引以上

詳細は
滿鐵鮮滿案內所へ
東京丸ビル　同參坂賣町
大阪梅鉢　門司税關前
下關驛前　新潟古町通

（本書の大さは國定規格A4・「週報」（倍判）